



【福井市学校教育目標・方針】

- ・郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
- ・学びをつなぐ・未来につなげる～「つながる」を大切にした学校～

【成和中学校区教育目標】

- 主体的に行動し、共に学びをつなぎ合う児童・生徒の育成

◆学校教育目標◆ 未来を拓き、たくましく生きる子の育成

【児童の実態】

- ・明るく素直
- ・言われたことに真面目に取り組む
- ・新たに挑戦する力が弱い
- ・自分の考えを他者に伝える力が弱い

【児童の願い】

- ・人や命を大切に（差別の無い）
- ・全学年の子と一緒に活動したい
- ・笑顔があふれる
- ・明るく元気（健康・清潔・挨拶）
- ・ほめ合い・助け合い
- ・あきらめない

【教職員の願い】

- ・失敗してもあきらめない
- ・自分の考えをもち、主体的に行動
- ・違いを受け入れ、折り合いをつけられる
- ・思いを伝えられる

【保護者や地域の願い】

- ・心身の成長
- ・安心して学べる居場所に
- ・笑顔で活気あふれる
- ・仲間と関わり合う
- ・考えることを楽しむ

子どもたちの



幸せのために

【研究主題】主体的に学び合うコミュニティを育てる～「問い」と「振り返り」の工夫～

A わかる授業づくり

◎ 学びのおもしろさを実感し、主体的に考える場を設定する

- ①「問い」と「振り返り」の工夫
- ②一人一人の考えを表現する場の工夫
- ③40分授業と「レインボータイム」の連関
- ④ICTの効果的な活用
- ⑤学習ルールの定着や学年に応じた家庭学習の工夫（パワーノートの活用）
- ⑥読書活動の推進
 - ◆授業がよくわかり楽しい（児 95%）
 - ◆考えを説明したり文章に書いたりしている（児 95%）
 - ◆ICT機器を授業で毎日利用している（職 100%）
 - ◆図書室（図書）の学習利用（年間10回以上）

B 居場所づくり・絆づくり

◎ 一体感のある学校・学級づくりと安全・安心を支える体制作りを行う

- ①みんなでやると楽しいと感じる活動や学年集団のつながりの工夫（学年・異学年交流の推進）
- ②違いを認め合う人権教育の推進
- ③いじめ・不登校の未然防止や初期対応
- ④特別支援・教育相談のチーム対応（SC・各種支援員・関係機関の有効活用と情報共有）
- ⑤自己安全能力を育む安全教育
 - ◆みんなと何かをやるのが楽しい（児 95%）
 - ◆いじめを見たら止めたり知らせたりできる（児 95%）
 - ◆子どものことで気軽に相談できる（保 95%）

【つきたい力】

- ・主体的に考え、協働する力
- ・失敗を恐れず粘り強く取り組む力
- ・自他を受け入れる力

C 家庭・地域との連携

◎ パートナーシップで進める子どもの育成と生涯教育の視点を生かした取組を行う

- ①各学年で地域人材や素材を生かした活動の推進
- ②地域や家庭と連携した「ホームデー」の実施
- ③園小接続・小中連携を生かした交流活動（スタートカリキュラムの整備）
- ④規則正しい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・スマートルール）の確立
 - ◆地域や郷土福井を大切にしている（職 90%）
 - ◆ホームデーは自分のためになっている（児 90%）
 - ◆食育や健康な体づくり（保 95%）

D チーム和田をめざして

めざす教職員像

- ① 心理的安全性の高いチームづくり
- ② 学び合う教師集団をめざした組織づくりや研修体制の構築（WKD わだカフェ）

業務改善の取組

- ③ 会議は1時間以内（+30分）に終了
- ④ 校務のDX化と共有化
- ⑤ ワークライフバランスの向上（早出遅出の活用、休暇の取得方法等）
 - ◆何でも相談でき、明るく働きやすい職場（職 90%）
 - ◆学ぶことは自分のためになり、楽しい（職 80%）